

発泡スチロール球で分子模型を作ろう

2015. 8. 25 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

8月6日～7日に小樽市総合博物館で「青少年のための科学の祭典 小樽大会」が行われ、分子模型作りのブースを出しました。そのようすをお知らせします。



●科学の祭典 1日目

今回は真紀子先生のお手伝いがなかったので、大変なことになるのではと不安でしたが、高校生さんが2人、本部から派遣されてきて、手伝ってくれました。

最初に『もしも原子が見えたなら』の絵本を使って、2人に空気の分子の説明をして、一通り、空気の分子模型を作ってもらいました。

開始後は、2人とも、初めて原子や分子に出会う子どもたちに、上手に絵本『もしも原子が見えたなら』（仮説社）を使いながら説明して、分子模型を作ってもらっていました。ボクより上手だったと思います。

ボクは前に作ったことのある人を対象に、エチルアルコールやブドウ糖、氷、カフェイン、方解石を作ってもらいました。





●科学の祭典 2日目

今回は前回よりもブースが減って、全体の来場者数は少し減ったようですが、1ブースあたりの人数は増えてしまい、どこのブースも材料がなくなって大変でした。分子模型ブースも赤球が1日目で半分無くなり、足りなくなる可能性もありましたが、2日目はちょっと人数が減り、球はなんとか足りました。

いつもは小樽の小学校で仮説実験授業を習っている子どもたちが来て、大きな分子模型を作っていくのですが、今年はそういう常連さんは来なくて、科学の祭典で原子分子を習った人が、大きな分子模型を作ってくれたのが、例年と違うところでした。

2日目も引き続き、2人の高校生さんが来てくれて、とても大助かり。手伝いというより、ボクはほとんどやることなく、あちこちのブースをぶらぶらすることもできました。



